

第16回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブルを開催しました

開催日時：2018年7月12日(木) 19:00～20:30

開催場所：此花区民ホール 第1会議室

酷暑の中の開催となりました「～未来このはな～ 二代目ラウンドテーブル」、このラウンドテーブルは、生活の中で「してみたいこと」をテーマに自由にアイデアや意見を出し合う場です。年齢や性別、肩書は一切関係なしに、此花をよりよくするために何か話そう。何か語ろう。という構想で行っています。参加のルールは簡単で、①お互いの話に乗っかって盛り上げましょう、②異なるご意見も尊重しましょう、③多少の脱線も容認しましょう、となります。

毎月第2木曜日に此花区民ホールにて定期開催する予定です。今回は、8月9日(木) 19:00より、区民ホール第1会議室にて開催予定です。参加は事前予約なしの自由参加です。お仕事の都合等での途中参加も歓迎いたします。お時間の許す方は、一度覗いてみてください。

今回は6名の皆様が参加されました。連日の猛暑の影響か若干参加者が少なめとなりましたが、今回は「此花から広めたいもの」を中心に話を繋ぎました。会議にビールは出ませんが、会議室の冷房をきつめにしてお待ちしておりますので、仕事帰りの夕涼みがてらお寄りくだされば幸いです。

○皆様からのお知らせなど。

「8月12日に『親子でフラダンス』を此花区民ホールで開催します。この団体さんと此花区民ホールとは、昨年の此花区子供会主催の『ヤングアートフェスティバル』に参加してもらったことが接点になりまして、その時の小学生の子供さん、男の子ですがウクレレ生演奏と生歌で皆さん踊られるのが非常に印象的でした。朝10時からお昼まで行いますのでお時間ありましたらご参加ください。」

「7月15・16日に住吉神社の夏祭りが開催されます。合わせて商店街では『マグロの解体ショー』などイベントが催されます。先週も七夕のイベントを実施されていましたが、今週末も神社の祭りに合わせて企画をご用意しているようです。最近、此花住吉商店街とグッディ此花さん共同でのイベントごとが増えているようです。」

「ちょっと先の話ですが、10月21日に四貫島商店街にて『にぎわい通り』のイベントが計画されています。例年区役所も絡んでの実施なのですが集客の目玉が見つからない状況でした。今年は地元の団体『Colors』が本通りと森須橋商店街の交差点辺りで舞台を組んで仮装や飲食のハロウィンイベントを計

【夏休み企画】親子でフラダンス!

アロ～ハ!夏休みに親子でフラダンスを体験しませんか?
どなたでも参加無料(申し込み不要・50名先着順)



実施日時 8月12日(日) 10:00～12:00

場所 大阪市立 此花区民ホール(此花区四貫島1-1-18) tel:06-6463-1100

内容 本場ハワイのようにウクレレの生演奏に合わせて踊ります。初心者でも簡単に楽しくフラダンスを体験することができます。

癒しの音楽に合わせてゆったり踊るフラダンスは身も心も心地ほぐします。



講師プロフィール カピオラニ吉田千恵
フラダンス教室 フラ オ カピオラニ主宰
大阪市生涯学習インストラクター
介護職員初任者
健康管理士一般指導員(食育講座 専任講師)
認知症サポーター

7・8月千鳥橋みどり公園でラジオ体操終了後(日・水・金 6:45～7:00)無料レッスン有
お問い合わせ: フラ オ カピオラニ 此花区西九条3-12-12 恵ビル3F
TEL: 080-3498-5782 MAIL: chie.kapiolani@gmail.com (担当: 吉田)
共催: 大阪市立此花区民ホール(指定管理者: (一財) 大阪市コミュニティ協会)

画しています。まだ詳細は煮詰まっておりますが、盛り上がればいいなと思います。」

「今度の住吉神社祭りの舞台イベントで夜の 8 時頃になると思いますが、その場で絵を描いてくれる方が出てきて、コンパネ 2 枚分位のものに太鼓を叩いている間に即興で絵を描くというパフォーマンスがあります。詩人の『となりの人間国宝さん』がその方を連れてきてくれました。実際にどんな絵をかかれるのか分かりませんが、去年のダンサーさんとのコラボとは違ったものが見せられると思います。」

「住吉神社祭りでは、此花観光協会さんがトルコビールではなく、今回は『青島ビール』を販売する予定です。先日、住吉神社地車会さんが上海遠征したのに因みその広報も兼ねて、となります。日本で売っている青島ビールは日本人向けに作ってあるので濃いそうです。上海に行ったときに飲んだビールは青島ビールを含め皆薄いので結構飲みやすかったです。」



「逆にインドネシア、タイなどの東南アジアのビールは濃い印象ですね。冷蔵庫がそこまで普及していないのか、氷を入れて飲む前提となりますのでアルコール度数が 10%を超えるものもあります。瓶 1 本飲んだら結構酔えますのでお得です。」

「千鳥橋みどり公園で月・水・金に、ラジオ体操の後にフラダンスを教えています。スーパーマルナカの裏です。そのラジオ体操は結構すごくて 5 人くらい前に指導者が立ちますし、毎回 50 人位集まっています。その後に『フラダンスやらせて』ということをやっていますが、今 10 人位の参加です。ラジオ体操が 6 時 30 分から 40 分まで、その後 45 分から 7 時までやっています。」

「最初は区民ホールの前の千鳥橋公園で商店街さんと協力して何か出来ないかなと目論んでいましたが、なかなか話が盛り上がらなくて。何かいい機会があればお話しください。」

○本日のテーマは『此花から広めたいもの』です。

「港区民祭りの会合に参加したのですが、『ギネスに挑戦』みたいなものをやると話題が広まるかも、という話をしていました。此花でもどうでしょう。一晩中太鼓を叩き続けるとか。」

『『〇〇区らしさ』というのは結構難しいと感ずます。日本とアメリカ、関東と関西程度であればまだしも、『大阪と奈良』の違いと言われても中々説明できません。『らしさ』とは何でしょう。』

『『らしさ=あるもの』とすると USJ ですかね。此花区の場所を説明するのは楽になりました。』

『『此花区はガラが悪い』というイメージは払拭したいですね。』

『『此花はガラが悪い』というイメージは私たち昭和の世代までの印象ですかね。最近の若者には無くなってきていると思います。実際に警察の方に言わせると、大阪の中で此花区が一番犯罪率は低いとのこと。』

ここから昭和世代の『わが街、わが郷のガラ悪い合戦』となりました。「伝聞」ではなく「実体験」に基づくお話は興味深いものですが、文字に書き起こすのに神経を使いますので割愛させていただきます。皆様のお話を要約しますと、

- 最近の此花はそんなにガラが悪いわけではない。昭和の思い出である。
- そもそも子供が少なくなった。エッジの利いた若者がいなくなった。
- 工場が減って、そこで働く労働者が街で飲み歩く景色もなくなり飲み屋も減ってしまった。

こんな感じです。話に「参戦」したい方は、次回ラウンドテーブルにご参加ください。

「此花のそれぞれの地域で行われている祭りは、いろんな意味で『らしさ』を残していると感じます。」
「大阪は大人になってから地元に戻ってくる方が多いイメージがあります。地方は地元を離れた人間が後に戻ってくることはほとんどありません。地元に戻るということは、子供の頃に世話になったおっちゃん・おばちゃんともう一度付き合うことになり、昔からの地域のヒエラルキーに戻されることとなります。ある地域コミュニティの研究で『大阪は村社会が残っている』との報告がありましたが、この『村社会』が良く言えば『人情味がある』となるでしょうし、馴染まなければお互い窮屈に感じるようになるでしょう。」

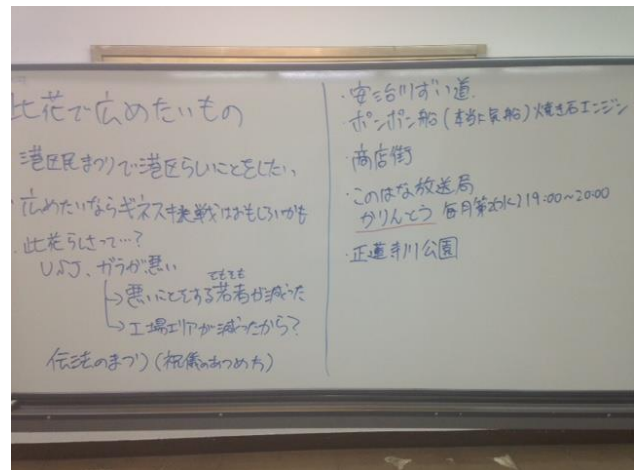
「安治川トンネルは他所の方には面白いと言われているそうです。私としては川渡しの『ポンポン船』が無くなって寂しいと感じています。ポンポン船の方が此花のイメージですね。安治川隧道は『道路』の扱いなので無料で通行が可能となっているそうです。」

「ポンポン船が期間限定でも復活したら面白いと思いますし、むしろ便利だと思います。昔は渡し船が沢山ありました。大阪港から春日出のプールに行くのに利用していました。此花区から港区へ、また港区から大正区へ行くのにも渡し船があったと思います。感覚ですけども船着き場に行って船に乗ったらほとんど待ち時間なしに出発していたように記憶しています。」

「ポンポン船が此花の観光資源になるかどうかは微妙ですが、確かに『らしさ』はあると思います。」

「此花の商店街は規模こそ小さいですが複数が隣接していて『らしさ』を持っていると思います。ただ店舗数の減少は否定できません。商店街でも活性化の取り組みを模索しておりますが、空き店舗の有効活用となると家賃をはじめ商店街の共益金などもあり結構な金額が必要で簡単ではありません。」

「飲食業組合さんでも『此花バル』などの企画を実施されているようです。昨年も11月に行われました。此花は梅田隣接の福島とは違い、イベントでの商業エリアからの新規のお客様の流れを期待できない



め、顧客ターゲットの絞り込みなど難しさがあるようです。」

「若い方たちが古い建物をリノベーションして新しく商売を始めるようになると活性化につながると思うが、コスト高が障害になっている。アーケードの下は難しくても本通りの1・2本裏手の物件で商売を始める方たちが増えて『此花エリア』として盛り上がってくればありがたいと思います。」

「『吉本住みます芸人・かりんとう』を広めたいと思っております。今月より以前から話しておりました彼らを起用した新しいネット番組を始めました。毎月第2水曜日の19時から1時間放送します。『此花放送局』の制作になりますが、ごめんなさい、放送チャンネル、番組タイトル、内容についてはちょっと分かりません。」

「此花の団体さんは、かりんとうを積極的に催しに起用しようとしていると思います。ただ、吉本の『住みます芸人』企画の統括マネージャーにお話を聞く機会があり、『此花が一番積極的でしょう』と振ったところ『3番目』との返事でした。住之江・福島が筆頭で、両区とも区長さんが積極的で、特に福島の区長さんは元吉本の方で、上手にイベントに組み入れることに長けておられるそうです。」

「かりんとうの更なる区民への浸透のために、イベントとして定評のある此花区観光協会さんともライブイベントを組めないか相談をしているところです。まだ具体的な絵になっておりませんが、ご期待頂ければと思います。」

その後は、完成の待ち遠しい「正蓮寺川公園」について、この公園の先日の大雨での冠水の話から、此花の防災の話へと話題が移りました。海拔の低い此花では、地震の後の津波への備えが大切だと言われていて、お住いの地域や所属する会社・団体での対応、区役所や研究会からの情報などが共有されました。解決策が整理されているわけではなく、課題が山積している状況です。まず何処に逃げるのか、逃げた後の水の引くまでの2・3日をどう過ごすのか、水・食料のみならずトイレなどの生活環境をどう確保するのか、「津波火災」への備えはあるのか、など多岐に亘ります。まずはハザードマップの確認からとなりましょうが、此花区から広めるべきものは住民の「防災意識」なのかもしれません。

少々重い話になりましたが、最後は此花から広めたいものは「住みます芸人・かりんとう」ということにして本日のラウンドテーブルは終了しました。

以上です。

次回は、8月9日(木) 19:00より、此花区民ホール第1会議室にて開催予定です。
皆様のご参加をお待ちしております。